

ROYAL SAFE ROPE II 信頼される命の綱

ロイヤルセーフロープをさらに技術開発しました

ロイヤルセーフロープ II

法面命綱がより安全で使いやすくなりました

ロイヤルセーフロープ II は、外側にエステルスパン糸を使用、芯部分には強力ポリプロ糸赤色を使った二重構造で、さらに当社独自の熱処理延伸技術ロイヤル加工を施した安定構造になっています。

風合

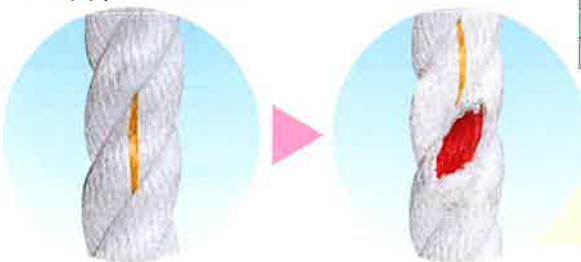
- 表面の糸はエステルスパンであり、手ざわり、すべりは従来に近い風合いを実現しました。
- 側及び芯の糸が水を吸わない事により、変形が少なく硬化が減りました。

性能

- 強力は従来より水を吸った状態で、40%向上しました。
- 2000回摩耗後残存強力試験の結果、乾時50%、湿時100%。性能が、上がりました。
- ロイヤル加工により太さが安定して、ロリップとのなじみが良くなりました。
- 水を吸った状態では、重量が約30%弱軽くなり作業が楽になりました。
- ロイヤル加工により形状が安定し、ショックを吸収し安全に使用できます。

安全

- ロイヤルセーフロープ II の廃棄レベルの強力は、ビニロン E の使用前の強力を上回ります。
- 30℃凍結試験の実施結果で異常ありません。引張強力4.5t以上、70kg荷重120°屈曲試験でも異常ありません。



ロイヤルセーフロープ II とビニロン E ロープとの性能比較

※試験値であり規格ではありません。

18mmタイプ

■強力

直線強力	乾時	湿時
ロイヤルセーフ II	4.5t	4.5t
ビニロン E	3.7t	3.1t

■摩耗残存強力

初期強力	乾時2000回摩耗後	湿時2000回摩耗後
ロイヤルセーフ II 4.5t	3.1t	3.8t
ビニロン E 3.7t	2.1t	1.9t

■形状安定性

製造時分径	乾時フリー10日後	湿時フリー10日後
ロイヤルセーフ II 18mm	18.0mm	18.2mm
ビニロン E 18mm	19.3mm	19.6mm

■重量安定性

製造時200m丸物	乾時	湿時
ロイヤルセーフ II	38.5kg	42.0kg
ビニロン E	39.8kg	57.0kg

16mmタイプ

■強力

直線強力	乾時	湿時
ロイヤルセーフ II	3.5t	3.5t
ビニロン E	2.9t	2.4t

■摩耗残存強力

初期強力	乾時2000回摩耗後	湿時2000回摩耗後
ロイヤルセーフ II 3.6t	2.5t	3.0t
ビニロン E 2.9t	1.6t	1.5t

■形状安定性

製造時分径	乾時フリー10日後	湿時フリー10日後
ロイヤルセーフ II 16mm	16.0mm	16.2mm
ビニロン E 16mm	17.2mm	17.4mm

■重量安定性

製造時200m丸物	乾時	湿時
ロイヤルセーフ II	31.0kg	34.0kg
ビニロン E	31.5kg	45.6kg

傷が入れば一目でわかります。
安全点検が確実に、安心して御使用戴けます。
芯の赤色サインは廃棄基準ではありません。

日特建設グループ会社
緑興産株式会社 <https://www.midori-kosan.jp/>
〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-10-6
(Daiwa東日本橋ビル)
TEL03-5645-5150 FAX03-5645-5153



JIS 日本工業規格表示認証工場

石田製綱株式会社

本社 愛知県蒲郡市形原町上辻48番地
〒443-0104 TEL 0533(57)6181 FAX 0533(57)6185
大分工場 大分県国東市国東町川原1662
〒873-0531 TEL 0978(72)2201 FAX 0978(72)2271

ロイヤルセーフロープⅡ 使用上の注意

⚠ 危険

引張り強さとは、試験機で切断時のデータであり、性能の目安です。安全使用荷重ではありません。但し、安全帯構造指針の19kN以上は十分にクリアしています。



⚠ 危険

使用前には、毎回ロープの点検を行なってください。特に、吊り下げられている時には、作業場所より上部の点検を怠りがちですが、非常に危険です。上部の点検が毎回できない場合は、親綱と命綱の2本使用が必要です。



⚠ 危険

刃物、岩の角、コンクリートの角など鋭利な角には、合成繊維ロープは非常に弱く、使用上危険があれば、保護対策を準備してご使用願います。



⚠ 危険

保管には熱源、直射日光、化学薬品等の接触を避けてください。



⚠ 警告

点検で1ストランド中7ヤーン以上破損又は、焼損したものや、各ストランドが坊主頭状になったもの、コンクリート、ペイント、油、薬品汚れ等で硬化したもの、キンクを生じたもの、サツマ加工部分が3回以上刺されていない状況まで緩んだものは、廃棄してください。



⚠ 警告

芯の赤ヤーンは点検を確実にするものであって、廃棄基準ではありません。赤ヤーンが見えるまで使用するという考え方は危険です。

